

運動方針

一、一般運動方針

一、國際情勢 略

千九三三年フアツシヨ、ドイツ生れ世界の均衡は正に破れんとし世界資本主義の崩壊の危機は迫り千九三四年二月六日ベイヨン又事件を契期として起れるパリーの大暴動勃發は忽ちのうちに全歐洲に波及し十月埃國首都ウヰン市の大暴動と成り政府軍との交戦に全埃國を戰場化し愛蘭にもスペインでも戰闘的勞働者の反逆の血潮は燃え上り今や全歐洲は正に革命の前夜にある

二、日本資本主義の一般情勢

一、日本資本主義の變則的發展と特殊情勢

崩壊期轉向に立つ世界資本主義の一環たる日本主義は歐洲大戰を通じて急迫なる發展を辿つて一躍世界資本主義の列伍に加り

戰後世界資本主義の生産力恢復と國際市場進出に際會するや慌しくも一大混亂を惹起した日本資本主義の産業的基礎は微弱にして動搖し易く世界資本主義並に國內資本主義の比較的小動にも安定を失ひ發展のおくれたる初期資本主義時代の雜工業及び農業に依存する部が、分が多く爲に産業開發の過程には國家保護に待つて發達せる官僚的性質が多分に濃であり國家資源に乏しき我國一重要工業の基礎たる石炭鐵鋼の大部分を支那に仰ぎ此の國なきとき日本の工業は成立せず擴大な市場も見ない一即ち殖民地侵略政策は殖民地侵略戦争となり一支那を差控へて帝國主義列強との軋轢を愈々光銳ならしむ

二、現下の諸狀勢

千九三一年の滿洲事變に依る對支一武力壓迫一は帝國主義列強との軋轢を愈々光銳ならしめ一世界第二次大戰を一差控へて起